



津屋崎

学力テスト結果報告 特別号
 令和4年10月13日
 福津市立津屋崎小学校
 校長 木庭 竜之助

全国学力・学習状況調査，福岡県学力調査の結果について

令和4年度の全国学力・学習状況調査（4月実施，国語・算数，6年生対象）と福岡県学力調査（6月実施，国語・算数，5年生対象）の結果が届きました。本校の結果についてお知らせします。なお学力調査の結果は「学力の特定の一部」です。この結果だけにとらわれるのではなく，地域に関わり，地域に学ぶ教育活動を推進し，未来の津屋崎・勝浦を担う子どもの育成に努めていきます。

全国学力・学習状況調査の平均正答率，児童質問紙の結果等の比較

平均正答率	国語	算数	理科	児童質問紙 (%)	自分にはよい所がある	夢や目標をもっている	計画を立てて勉強している	学校以外の1日あたり1時間以上勉強している	地域や社会をより良くするために何をすべきか考えている	地域の行事に参加している
津屋崎小	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ	津屋崎小	ほぼ同じ	ほぼ同じ	やや下回っている	下回っている	上回っている	ほぼ同じ
福岡県	101	100	100	福岡県	77.9	79.5	68.8	56.7	51.3	51.1
全国	100	100	100	全国	79.3	79.8	71.1	59.4	51.3	52.7

上の2つの表は，全国の平均正答率を100として相対的に比較したものです。国語・算数・理科は，全国平均，県平均と比べてほぼ同じです。これらから，学力の維持ができていると考えます。また，児童質問紙では，右上の表の6つの項目について報告します。家庭学習に関する2項目については，全国や県の平均よりやや下回っている，下回っています。 自分自身に関する2項目は，全国や県の平均とほぼ同じ値になっています。地域や社会に関する2項目については，全国や県の平均とほぼ同じ，上回っています。このことから，児童の家庭学習習慣については，家庭と学校で密に連携し，個に応じた家庭学習の在り方を検討，改善していく必要があります。また，それ以外については，学校・家庭・地域で連携し，よりよい児童の心身の育成に努めている結果だと考えられます。特に，地域や社会の出来事については地域コーディネーターと学校，地域，家庭が連携し，地域学習について，より充実させている結果だと考えます。

福岡県学力調査 平均正答率等の比較

平均正答率	国語	算数
津屋崎小	ほぼ同じ	ほぼ同じ
福津市	103	105
福岡県	100	100

左の表は、福岡県の平均正答率を 100 として相対的に比較したものです。国語・算数ともに、県平均とほぼ同じです。特に、自分の考えを文章で説明したりまとめたりする問題については、粘り強く問題に取り組んだものの不十分な

回答が多い傾向にあります。自分の考えを文章で表現したりする場面を増やし、表現する力をつけていく必要があります。

今後の改善の取組

○ 主体的に学ぶことができる授業の充実

自分で課題を見つけたり課題を選択し自己決定したりするなど自分自身で考え、判断し行動できるような学習を行うことができるような場面を設定するなど、授業内容を充実させていきます。

○ 対話活動・書く活動を重視した授業の充実

授業の中で、自分の考えをノートに書き説明したり、条件やキーワードを使って考えを文章にまとめたりする活動や友達と考えを対話する活動を行い、表現する力をつけていきます。また、ICT を活用しながら、情報を取捨選択したり思考を整理したりする活動を充実させていきます。

○ 基礎・基本の学力の維持向上

一昨年に引き続き、基礎・基本の学力の維持向上のために、朝の活動として「全校一斉お粒チャレンジ」による漢字・計算の取組を行います。また、家庭、地域と連携をしながら、定期的な補充学習「ブロッ子タイム」を行います。

○ 家庭学習の習慣化と定着

児童質問紙の結果より、特に家庭学習での取組を行います。津屋崎中校区で共通して実施している「チャレンジウィーク」を活用し、家庭学習の在り方について、教職員、児童、保護者と共通理解と連携を図りながら、自分で計画を立てて勉強し、家庭学習の充実ができるようにしていきます。

